

# 佐渡米通信

# こめる

2021年 10月号

発行日:2021年10月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 駒形・澁谷・渡辺(清)  
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

## 令和3年産米 稲刈り

令和3年産米の収穫が9月初旬から始まりました。今年は、8月上旬まで高温が続き、早生品種「こしいぶき」の登熟が進んだことで収穫時期も早まる傾向にありました。

コシヒカリはお盆以降に気温が低くなったため、登熟が緩やかになり収穫時期は平年並みとなりました。JA佐渡管内での収穫作業は9月中旬にピークを迎え、10月まで続く見込みです。

【JA佐渡管内各品種の収穫開始時期】

品種	収穫開始時期
こしいぶき	9月2日~
コシヒカリ	9月14日~



## 水稲刈り指導会

9月6日から9月11日までの間、佐渡米未来プロジェクト「品質向上90」の刈り指導会が行われました。参加者は自身の圃場の稲を持ち寄り、収穫時期の指標となる穂の黄化状態の確認を行いました。

指導会では「刈り取りタイミングが適切でない」と品質や収量、食味の低下を招くため、刈り遅れないように」とJAの指導員より呼び掛けがありました。



稲の黄化状態を営農指導員と確認している様子



YouTubeの「JA佐渡営農指導チャンネル」で指導会の様子を配信しています。



佐渡産コシヒカリ刈り取り適期見本版

## 自然栽培米勉強会を開催

新潟県と山形県で自然栽培米に取り組む生産者が集い、自然栽培米勉強会が開催されました。

自然栽培米とは農薬を一切使用せず、有機肥料や堆肥も施用しない栽培方法です。自然栽培米の圃場を視察し、栽培のポイントなど情報交換が行われました。



自然栽培米勉強会

## ラジコンヘリ カメムシ防除

8月中旬に佐渡島内各所で地域一斉無人ヘリコプターによるカメムシ防除が行われました。カメムシは、斑点米という格落ち原因となるお米を発生させます。

無人ヘリコプター(ドローンも含む)による防除は、プロペラのダウンウォッシュ(吹き降ろしの風)効果により葉裏や株元まで農薬がしっかりと付着し、少量の薬剤を広範囲に均一に散布することが出来ます。

JA佐渡では農薬・化学肥料を5割以上減らした米作りを推奨しているため、効率よく防除効果を上げることが、生産性と環境への配慮の両立ができる有効な手段となっています。



無人ヘリコプターによるカメムシ防除

JA佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」で佐渡の情報が見られます。  
<https://www.facebook.com/jasadotanbo>

